



本とともにだちに… —読書の楽しさを味わわせましょう—

校長 柳井昌子

1学期も残すところあと1週間となりました。日に日に暑さが厳しくなってくる時期ですが、健康に気をつけて、元気に終業式を迎えてほしいと思います。

さて、本校では、豊かな心を育成したり、学力を向上させたりする取組として、始業前の「読書タイム」の実施や読書ノートの活用、図書室での学習を進めているところです。読書は人間性の教育に最適であると言われていています。読書活動は新しい知識や情報を身に付けるだけではなく、自分の心を和ませることができます。読書をしている時間は、活字と対話しながら、自らの世界を創りだし、そこで、鋭敏な感性が研ぎ澄まされます。落ち着いた心で活字に接しながら、新しい知識や情報を獲得し、想像する力を身に付けることは、新たなものを生み出す創造力の形成にもつながります。学校では、いろいろな本と出合わせる機会をつくり、一人でも多くの読書好きの子どもを育てていきたいと考えています。

今年度も、朝会時や校内放送で、図書委員会の子どもたちが『おすすめの本』を紹介し、読書に関心をもつ取組を進めています。『おすすめの本』を紹介については子どもたちがさらに本に興味をいкакように職員室前の廊下にも掲示をしています。

本校は毎年、図書サポーターの先生や図書ボランティアの保護者の方々が、図書室の掲示や図書の閲覧のための工夫をしていただき、図書に親しみやすい環境を整備していただいています。また、昨年度より『ブック・ママ』として図書ボランティアの保護者の方々が休み時間に本の読み聞かせをされています。このような取組で一人でも多くの子どもが本とともにだちになってくれたらと願っています。

読書は人間の一生を通じて行われる活動であると思います。それゆえに、子どもの頃から、読書の楽しさを味わわせることは大切なことです。読書活動を生活の一部として習慣化させ、生涯にわたって読書し続けようとする意欲や態度を育てていけるよう、我々大人も努力することが必要なことではないでしょうか。

家庭でも親子で読書に取り組むなど、子どもの読書活動を応援いただき、子どもの夢をはぐくめるようご支援ください。



○人権集会の取組

7月4日の児童朝会時に人権集会に取り組みました。最初に「人権とは…人間が人間らしく生きる権利である」、「みんなが『安心』して『自信』をもって『自由』に生きる権利をみんなで守っていくことが大切である」ことなどを学びました。そして、さかなクン作の「さかなのなみだ」の絵本の内容についての朗読を聞き、一人ひとりが大切にされることにより、みんなが安心して過ごすことができる学級、学校にしていくことの重要性を学びました。朗読を聞いた後、仲間や友だちを大切にしていくことの大事さを感じながら、全校児童で「あしたははれる」を気持ちよく歌いました。生きていくうえで大事なことを子ども一人ひとりが考えるいい機会となりました。

○学校閉庁日について

夏季休業中の学校閉庁日について、教育委員会からの文書を7月12日に配布します。学校閉庁日の期間における学校への電話や来訪による問合せはご遠慮願います。趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますよう、よろしくお願ひします。

○登下校の安全について

日頃より、多くの保護者の方々に子どもたちの登下校を見守っていただき、感謝申しあげます。PTA活動においても安全委員さん方から、登下校の子どもたちの様子を詳細に学校にお知らせいただいています。怪我や危険なことにつながるような状況や箇所について、校報裏面に通学路とともに定期的に記載しますので、確認いただき、ご家庭においてもご注意いただきますようお願いいたします。

○7月3日 一斉登校指導ありがとうございました。